

平成24年度
”東オホーツクシーニック
バイウエイルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート		報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 高谷 弘志						報告年月日: 2013/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
景観づくり	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく 見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	小清水原生花園、以久科原生花園の保全 (ネナシカズラの除去等)	—	—	—	—	—		回を重ねるごとに、地域の取り組みとして根づいてきたように感じられる。また、観光関係者、沿道住民の積極的な参画など、地域に密着した活動構成と運用体制についても徐々に構築されてきたと考えられる。 今後も、良好な沿道景観の形成をめざし、積極的活動を継続していくためにも、ルート内における類似した活動も多く見受けられることから、活動団体間の連絡等を綿密に行いながら、これらの活動を連携させることを念頭に、取り組みを行っていきたい。「美しい沿道の保全・啓蒙」の方針を十分満たしているものと考えられる。
		沿道の一斉清掃活動の実施	1	平成24年度網走湖クリーン作戦	(社)網走市観光協会	平成24年4月21日	約350人 ・主催者8名 ・一般参加342名		
			2	美しい景観保全のための清掃事業「道路清掃・春のごみゼロ運動」	清里町商工会	平成24年5月26日	190名 ・主催者9名 ・一般参加181名		
		沿道の植栽活動の実施	3	きよさと花みどりフェスタ2012	清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	平成24年6月1日 平成24年9月30日	約300名 ・主催者15名 ・一般参加285名		
			4	ウトロ沿道に花を植えよう	しれとこウトロ・フォーラム21	平成24年6月10日	80名 ・主催者10名 ・一般参加70名		
			5	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム21	平成25年2月8日	80名 ・主催者10名 ・一般参加72名		
	鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	網走湖周辺の水芭蕉の保全活動	—	—	—	—	—		事業予算等が少なかったことから、個別による団体活動が中心となった。 今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせずに実現できる取り組みを行っていきたい。
		花を見る木道づくりの推進	6	美幌みどりの村で「桜祭り」	桜の名所を創る会	平成24年5月13日	30名 ・主催者9名 ・一般参加21名		
		東オホーツク花カレンダーの作成	—	—	—	—	—		
		東オホーツク花シンポジウムの実施	—	—	—	—	—		
	ビューポイントを再発見・創出する	景観探しツアーの実施	—	—	—	—	—		各方針別の活動内容について、今年度はあまり活動が行われていない状況であるが、ガードレールの除雪実施については、オホーツク海の良好な景観を観ることができると大受好評である。費用がかかることではないが、人的な力を必要とするため、今後は、他機関との連携を図りつつ継続的に実施したい。 シーニックデッキの維持管理に関しては、今年度から新たな設置箇所が加わったこともあるので、今後もよりよい状態で提供できるように、積極的な実施を心がける。
		東オホーツクフォトコンテストの実施	—	—	—	—	—		
		ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり	—	—	—	—	—		
		ビューポイントパーキングの拡充と保全	—	—	—	—	—		
			5	ガードレールの雪かきボランティア	しれとこウトロ・フォーラム21	平成25年2月8日	80名 ・主催者10名 ・一般参加72名		
		地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施	7	シーニックマップVOL.6の作成	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	—	—	H - 2	
			8	シーニックデッキの維持管理	清里町商工会、NPO法人きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	平成24年4～6月	8名 ・主催者8名		
農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	地域特産物の販売やPR活動		9	シーニックマルシェin網走	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年9月9日	約800名 ・主催者30名 ・一般参加770名	H - 1	シーニックマルシェの開催においては、野菜直売所イベントなどの開催により、生産者が直接お客様へ商品を提供できることが大きなメリットであり、売り上げ向上につながっているように考える。今回は、農産品だけではなく、東オホーツク内の生鮮品・加工品なども含まれているので、イベントを通して東オホーツクの魅力をPRできるように考える。 地元食材を使った「朝市食堂(感動朝市)」は、土・日に行われる模擬せりや海産物・農産物が格安で提供される即売会など、観光客だけでなく地元市民にも人気のイベントである。どのイベントにおいても、参加者など多いことから、継続した活動と連携を積極的に行ってきたい。 地元野菜やご当地産品の販売などが盛んに行われ、東オホーツクの食の資源を活かす活動が定着しつつあるように考える。
			9	シーニックマルシェin斜里	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年9月15日	約800名 ・主催者30名 ・一般参加770名		
			9	シーニックマルシェin清里	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年9月16日	約500名 ・主催者20名 ・一般参加480名		
			10	網走感動朝市	(社)網走市観光協会	平成24年7月22日～9月23日	8,433人 ・主催者30名 ・一般参加8,403人		
			11	地元農家直産 新鮮野菜 秋の味覚・収穫祭!	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年9月8日	約500名 ・主催者8名 ・一般参加492名		
			12	知床S-1自慢まつりINウトロ2012	NPO法人知床斜里町観光協会	平成24年9月30日	約800名 ・主催者8名 ・一般参加792名		
	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携								

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 高谷 弘志	報告年月日: 2013/3/31
----------------------------	-----------------------------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
地域づくり		先住民文化フォーラムの実施	—	—	—	—	—		
		植林事業等の実施	—	—	—	—	—		
	楽しみの創出(東オホーツク文化・ライフの追求)	温泉情報マップの作成	9	シーニックマップVOL.6の作成	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年5月～平成25年3月	—	H - 2	各方針別の内容が特定な内容が多く、温泉や飲食店に関する最新情報、グランドフロント北海道in清里以外は、活動がほとんど行えない状況であった。今後は、活動方針の見直しを図るとともに資金をあまり必要とせずに実現できる取り組みを行っていきたい。
		文化施設等との連携による文化発信	—	—	—	—	—		
		フットパスづくり	—	—	—	—	—		
		オホーツクバーボンの研究	—	—	—	—	—		
		外国人交流の実施と誘致	—	—	—	—	—		
		オホーツクのオリジナル食メニューの研究	—	—	—	—	—		
			12	グランドフロント北海道in清里	グランドフロント北海道in清里実行委員会(主催)特定非営利活動法人きよさと観光協会(主管)	平成24年7月1日	150名 ・主催者50名 ・一般参加100名		
	地域連携による地域情報の発信	活動団体向けニュースペーパーの発行	—	—	—	—	—		ホームページなどで紹介できるような取組みが多く、各エリアの地域情報や観光情報などを発信することができた。特に方針の内容とは別になるが、メーリングリストなどを活用して随時活動情報などの発信も行われていることから一定の成果が得られたものと考えられる。
		HPの創出と各町観光情報とのリンク	—	—	—	—	—		
			—	—	—	—	—		
			13	東オホーツクシーニックバイウェイ活動報告	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成26年2月(予定)	29名(予定) ・主催者8名 ・一般参加12名		
風を感じさせるマグネットポイントの創出	シーニックデッキの創出		14	ウトロポケットパーク	しれとこウトロ・フォーラム21	平成22年4月末～	約1,000名 ・主催者10名 ・一般参加990名		シーニックデッキの設置は昨年度の10箇所に対し8箇所となった。しかし、メーデーベーカーリーなど新たな団体との繋がりも増え、地域交流(連携)へと繋がることから、今後も継続的に実施を行っていきたい。
			15	あばしりフロックス公園	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年7月上旬～9月上旬	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名		
			15	メルヘンの丘(女満別)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年4月下旬～10月末頃	約8,000名 ・主催者8名 ・一般参加7,992名		
			15	季風クラブ(ウトロ)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	通年	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名		
			15	コスモスロード(上斜里)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年4月下旬～10月末頃	約5,000名 ・主催者8名 ・一般参加4,992名		
			15	コミット(水元町)	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年4月上旬～10月末頃	約2,000名 ・主催者8名 ・一般参加1,992名		
			15	斜里岳山小屋清岳荘	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年6月中旬～10月上旬	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名		
			15	メーデーベーカーリー	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成23年8月上旬～	約1,000名 ・主催者8名 ・一般参加992名		
		流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出	—	—	—	—	—		
		サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃	—	—	—	—	—		
観光振興	東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり		16	あばしりガイドウォーク・ツアー	(社)網走市観光協会	平成24年6月9日～10月27日の毎週土曜日	80名 ・主催者8名 ・一般参加72名		
			17	きよさとトレイルランニング	特定非営利活動法人きよさと観光協会	平成25年3月3日	250名 ・主催者50名 ・一般参加200名		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート		報告者: 東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 高谷 弘志						報告年月日: 2013/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
	各地毎の滞在メニューの創出・連携	ホーストレッキングルートの選定	—	—	—	—	—		四季を通じて変化に富んだ東オホーツクの自然(景観・環境)を活かした活動が行われた。特に「ガイドウォークツアー」は、自然豊かな東京農業大学キャンパスの外周5kmをフットバスコースとしたもので、自然景観や動植物について歩きながら学び、ガイド役を自然探索部の学生が解説、昼食は「学食」という新しい形のツアーであった。 新たな観光体験型のメニューとなりえる活動など、今後の観光振興に期待の持てる取り組みが行われているので、今後の継続した活動と連携を積極的に図ってきたい。
			18	春の古梅ダムウォーキング	美幌観光物産協会	平成24年5月19日	約45名 ・主催者5名 ・一般参加40名		
			19	神の子池かんじきウォーキング	東オホーツクガイド協会	平成25年2月10日	約100名(予定) ・主催者6名 ・一般参加94名		
			20	野の花観察ツアー	(社)網走市観光協会	平成24年 5月12日、13日、19日、20日	200名 ・主催者8名 ・一般参加192名		
			21	流水ウォーク	NPO法人知床ナチュラリスト協会	平成25年2月1日～3月31日	約500名 ・主催者8名 ・一般参加492名		
			22	知床ファンタジア2013	NPO法人知床斜里町観光協会、斜里町商工会	平成25年2月5日～3月3日	約40,000名 ・主催者8名 ・一般参加: 39,992名		
	東オホーツク型観光の研究	馬やバルーン景観の研究	—	—	—	—	—		農大フットバスは、エリア全体のガイドの育成ではないが、仕組みづくりの部分では、学生など若い世代と一緒に活動した参考となる事業であったと考える。エリア全体と考えた際には、地元の若い世代の他に、高齢でもこの地に詳しい自分のノウハウ・経験を生かせるを他企画にも取り入れ、今後さらなる仕組みづくりを検討していきたい。 また、今年度は、マルシェの開催に併せ、無料の電動アシスト自転車貸し出しコーナーを併設し、立ち寄った観光客に対して近郊の隠れた地域資源を巡る自転車観光ルートの提示と参加を促した。アンケート調査を実施し、「寄り道」に対する観光客のニーズ、本取り組みの課題、効果を把握した。
		東オホーツクトラベルの研究	21	電動アシストサイクルレンタルによる域内観光動向の把握	東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議	平成24年9月～平成25年3月	約35名 ・主催者5名 ・一般参加30名	H - 3	
		東オホーツク観光塾の創出	—	—	—	—	—		
		東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり	16	あばしりガイドウォーク・ツアー	(社)網走市観光協会	平成24年6月9日～10月27日迄の毎週土曜日	80名 ・主催者8名 ・一般参加72名		

東オホーツクシーニックバイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

H-1

活動名：「シーニックマルシェ」in網走、斜里、清里

【概要】 シーニックデッキの周知徹底のため、通常設置している数カ所から人の多く集まる箇所（道の駅2箇所）にデッキを集約し、『シーニック・マルシェ』を開催した。地元でとれた野菜や果物、地域特産品などの販売とともに、東オホーツクシーニックバイウェイの取り組みを紹介するパネル展示を行った。

【日時・場所】 平成24年9月9日（日）10：00～14：00「道の駅流水街道網走」
平成24年9月15日（土）10：00～14：00「道の駅うとろ・シリエトク」
平成24年9月16日（日）10：00～14：00「道の駅パパスランドさつつる」

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議

【参加団体】 網走市観光協会、小清水町観光協会、東藻琴観光協会、清里町商工会、きよさと観光協会、上斜里フラワーロード推進協議会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、知床斜里町観光協会



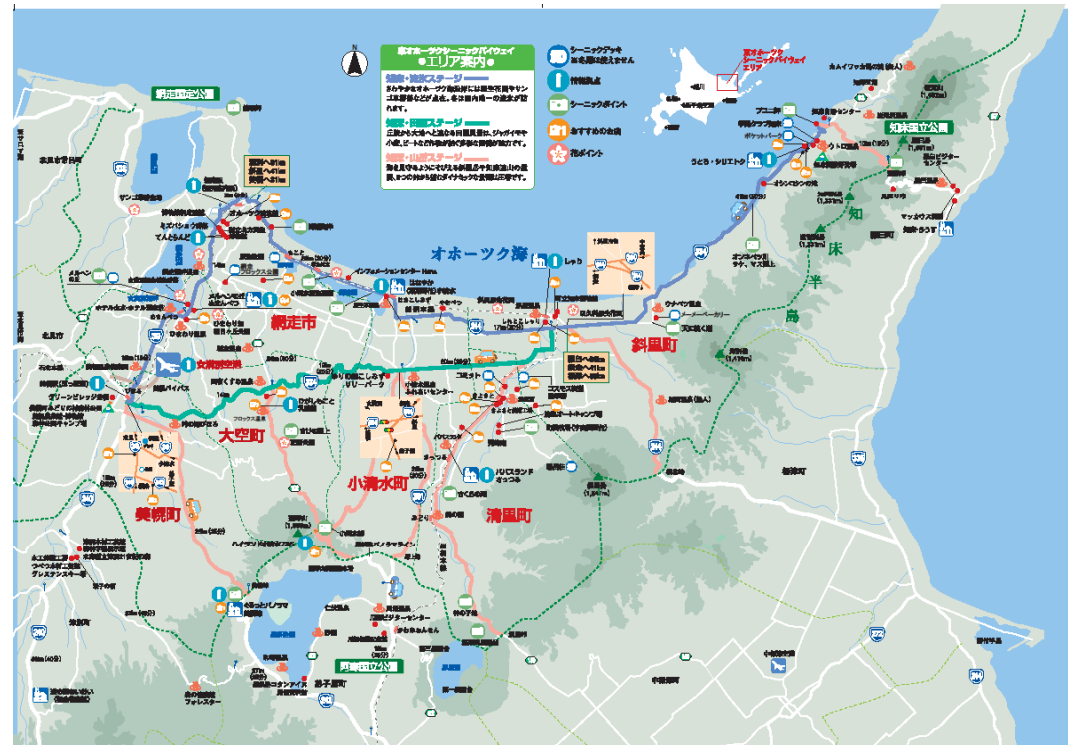
左より網走、ウトロ、清里



（右上はパネル展示の様子）→

活動名：シーニックマップVOL.6の作成

- 【概要】 東オホーツクの魅力を多くの方に広めるため「景観・美味しい店・温泉」情報を発信するためのシーニックマップVOL.6を作成した。
- 【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議
- 【作成部数】 3万部
- 【配布予定箇所】 MAP掲載店・施設等、域内自治体、観光協会、商工会、商工会議所、道の駅等



左上:温泉情報、左下:おすすめ飲食店、右:地図情報面

活動名：電動アシストサイクルレンタルによる域内観光動向の把握

【概要】 マルシェの開催に併せ、無料の電動アシスト自転車貸し出しコーナーを併設し、立ち寄った観光客に対して近郊の隠れた地域資源を巡る自転車観光ルートの提示と参加を促した。アンケート調査を実施し、「寄り道」に対する観光客のニーズ、本取り組みの課題、効果を把握し、今後の体験メニューの改善等に活用する。

【期間】 平成24年9月～平成25年3月（※実施は9月それ以降は分析、とりまとめ）

【実施場所】 平成24年9月9日（日） 10：00～14：00「道の駅流水街道網走」
平成24年9月15日（土） 10：00～14：00「道の駅うとろ・シリエトク」
平成24年9月16日（日） 10：00～14：00「道の駅パパスランドさつつる」

【主催】 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議



↑ 流水街道で配布した自転車観光ルート例（網走市観光協会が推奨しているルートに一部加筆）

結果概要

ポイント増やして・もっと長く乗りたい

どちらともいえない 60%

立ち寄りポイント・コース設定の満足度

不満 0%

満足 40%

域外参加者は全員マルシェに満足！

↑ シーニックPRブースと電動アシストサイクルレンタル受付(ウトロ)

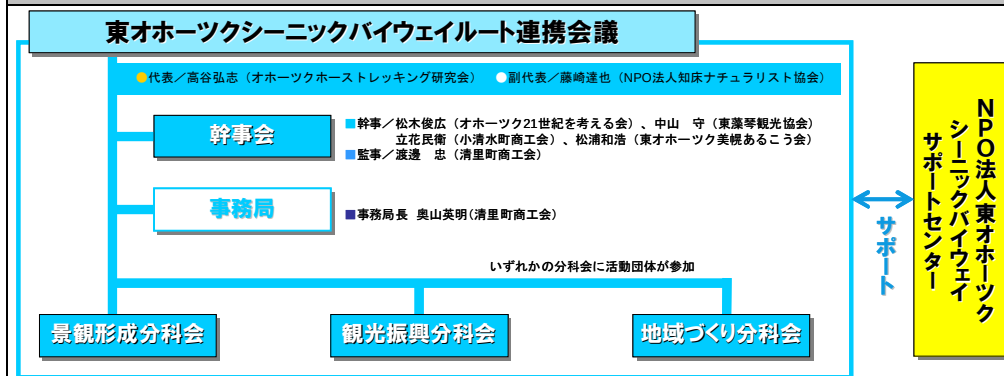
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 東オホーツクシーニックパイウェイルート	報告者: 東オホーツクシーニックパイウェイルート 代表 高谷 弘志	報告年月: 2013/3/31
----------------------------	-----------------------------------	-----------------

活動団体

網走市観光協会、オホーツク21世紀を考える会、オホーツクホーストレッキング研究会、北海道立オホーツク公園、東葉琴観光協会、大空町商工会、まちづくりネットワークプロジェクトN5、特定非営利活動法人めまんべつ観光協会、上斜里フラワールード推進協議会、特定非営利活動法人きよさと観光協会、清里町ウォーキング同好会、清里町商工会、清里町花と緑と交流のまちづくり委員会、東オホーツクガイド協会、小清水町観光協会、小清水町商工会、うしろナチュラルクラブ、斜里町商工会、しれとこウトロ・フォーラム21、特定非営利活動法人知床斜里町観光協会、特定非営利活動法人知床ナチュラリスト協会、Radio Kisar(ラジオキサラ)、東オホーツク美幌あるこう会、美幌観光物産協会、桜の名所を創る会（計25団体）

ルート運営体制(活動団体)

[illegible]

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 網走開発建設部	報告年月: 2013/3/31
----------------------------	--------------	-----------------

[illegible]

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者: 網走開発建設部	報告年月: 2013/3/31
----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	「平成24年度網走湖クリーン作戦」活動への参加	平成24年4月21日	網走市・網走開発建設部	観光シーズン到来を迎えるにあたり、GWが始まる前に道東観光の拠点網走の玄関口である網走湖沿いの呼人探鳥遊歩道の入口(ミズバショウ群生地)から大曲の駐車場(サイクリングロード入口)までの清掃を行った。本活動には300人を超える市民が参加し、網走市役所及び網走開発建設部の職員も清掃に参加した。	これらの活動の多くは、年を経るにつれて、地域イベントとして地元住民等に認知されてきたように感じる。 今後とも当該行政機関の関係職員による積極的な参加体制を構築していきたい。	1
		美しい景観保全のための清掃事業「道路清掃・春のごみゼロ運動」への参加	平成24年5月26日	清里町	東オホーツクSBW活動団体の連携強化及び景観保全への意識啓発を目的として、清里町で参加している活動団体(自治体や女性団体など)を中心とした町民約150名とともに、清里町役場の職員も参加し、町内の中心路線である道道摩周湖斜里線(上斜里〜礼弦)の沿道清掃と空き缶拾いを行った。		2
		メルヘンの丘周辺における清掃活動の実施	平成24年4月23日	大空町・網走開発建設部	本格的な観光シーズン到来を迎えるにあたり、「メルヘンの丘」を訪れる多くの観光客に良好な景観を楽しんでもらうために、大空町役場及び網走開発建設部の関係職員が道の駅「メルヘンの丘めまづつ」及びメルヘンの丘付近のVPP周辺の道路を地域住民とともに清掃活動を実施した。		3
	鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	道路敷地内における自然植生法面の創出(きたはなプロジェクトによる植栽)活動への参加	平成24年10月3日	網走市・網走開発建設部	地元住民と行政機関との地域協働プロジェクトである「きたはなプロジェクト」の一環として、網走市役所及び網走開発建設部の関係職員も参加して、国道244号網走市北浜の法面等への自生種の移植及び種まきを実施した。		4
		VSP活動「ウトロ沿道に花を植えよう」への花苗等の提供	平成24年6月10日	網走開発建設部	網走開発建設部によるVSP(ボランティア・サポート・プログラム)の一環として、SBW活動団体「しれとこウトロフォーラム21」の主催により、道の駅「うしろ・シリエトク」周辺の一般国道334号沿線上での植栽活動が行われた。本取組は今年度で6回目を迎え、当日は天候にも恵まれ約110人が参加した。なお、花苗等については、網走開発建設部が提供した。		5
	ビューポイントを再発見・創出する	雪山展望台の設置作業への参加	平成24年2月4日 ～ 平成24年3月4日	オホーツク総合振興局、釧路自然環境事務所ウトロ自然保護官事務所、北見運輸支局、斜里町、網走開発建設部	雄大な流水景観などを楽しむことができる雪山展望台と駐車場を期間限定で斜里町峰浜地区(CAFE PATH横)に設置した。本取組の実施にあたっては、オホーツク総合振興局や斜里町役場及び網走開発建設部を始めとした行政機関の関係職員も設置作業に参加した。		6
地域	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	シーニック・マルシェの開催協力	道の駅「流水街道網走」(平成24年9月9日) 道の駅「ウトロ・シリエトク」(平成24年9月15日) 道の駅「ハバスランドさつづる」(平成24年9月16日)	網走市・清里町・網走開発建設部	本イベントの実施を通して、来場者に対してSBW活動のPRを行うとともに、活動団体相互の連携強化を図ることを目的に、「流水街道網走」、「ウトロ・シリエトク」及び「ハバスランドさつづる」で、ルート内に点在しているシーニックデッキを1箇所に集め、地域の農水産品や工芸品等の販売を行った。なお、網走市役所、清里町役場及び網走開発建設部として、道の駅の使用許可に関する協力やSBW紹介パネルの貸与等の支援を行った。	「シーニック・マルシェ」及び「知床S-1自慢まつりINウトロ2012」とともに、前年度より実施されたイベントであるが、実施団体より事前に相談を受けていたこともあり、行政機関として側面から支援することが出来た。次年度以降も開催予定があれば、積極的に協力していきたい。	7
		知床S-1自慢まつりINウトロ2012の開催協力	平成24年9月30日	斜里町・網走開発建設部	SBWルート団体である知床斜里町観光協会主催により、道の駅「うしろ・シリエトク」構内で本イベントを開催した。斜里町役場及び網走開発建設部の取組として、道路敷地の使用許可などのイベントの運営協力を行った。		8
		★東京農大収穫祭におけるSBWパネル展の実施	平成24年10月8日	網走開発建設部	本収穫祭におけるパネル展示については、当部の農業部門にてパネル展示を継続的に行ってきたところであるが、今年度より道路部門においても農業部門と連携する形でSBWパネル展を実施した。		9
	地域連携による地域情報の発信	東オホーツク・知床エリア「ヒヤリ・ハットマップ」の作成	四半期毎に作成	オホーツク総合振興局、釧路自然環境事務所ウトロ自然保護官事務所、北見運輸支局、斜里町、網走開発建設部	道路利用者に対する車内走行時の注意喚起を促すことを目的に、東オホーツク・知床エリアの「路線連絡会議」構成団体による取組として、当該エリア内の「ヒヤリ・ハットマップ」を1冊作成し、SBWルート内の道の駅や女満別空港付近のレンタカー窓口、観光施設等での配布を行った。なお、「路線連絡会議」構成団体には、東オホーツクSBWの行政連絡会議も参加しており、網走開発建設部が中心となって、「ヒヤリ・ハットマップ」を作成した。	これらの取組は、道路利用者に対する注意喚起等を促すものであるが、回数を重ねる毎に地元における認知度が上がっていると思われるので、次年度以降も継続して行っていきたい。	10
観光		「知床ファンタジア2013」に係る運営協力及びHP上への情報掲載	平成25年2月5日 ～ 平成25年3月12日	斜里町、網走開発建設部	SBWルート団体である知床斜里町観光協会主催により、本イベントを開催予定である。なお、斜里町では、イベントの運営協力や役場のHP上に本イベント情報のバナーを張る等の支援活動を行っている。網走開発建設部においても、地域イベント情報としてHP上で部内職員への紹介を行った。	斜里町と網走開発建設部のHP上でのイベント紹介を行うことで、行政機関として側面から支援を行っており、次年度以降も継続して支援を行っていきたい。	11

※表中「★」は、H24新規に実施した活動

5. 平成23年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者:東オホーツクシーニックバイウェイルート 代表 高谷 弘志	報告年月:2013/3/31
---------------------------	----------------------------------	----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動等を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。	シーニックデッキの周知徹底を目的に、デッキを集約し、地元産の食材・地域特産品の販売、東オホーツクの取り組みを紹介するパネル展を行った「シーニック・マルシェ」については、継続の結果、域内農商工連携の促進、シーニックの理念・活動への理解の促進、参加した域内農商工者への一定の利益供与が可能な場としての定着といった効果の発現が見受けられることから、今年度は実施箇所を3箇所を増加した。今後はさらなる参加農商工者の増加や域外観光客の動員増加に向けたPRを重点としながら、継続的に実施していきたいと考える。 域内情報の発信については、本ルートの多様な情報を網羅したマップの更新を実施し、最新の情報発信を行った。 また、域外来場客の域内滞留時間の増加と購買意欲増進の工夫も必要と考えており、それらに資するため、マルシェの開催に併せ、無料の電動アシスト自転車貸し出しコーナーを併設し、立ち寄った観光客に対して近郊の隠れた地域資源を巡る自転車観光ルートの提示と参加を促した。アンケート調査を実施しており、「寄り道」に対する観光客のニーズ、本取り組みの課題、効果を把握し、今後の体験メニューの改善等に活用していきたい。 さらに、今年度実施された新千歳空港でのPRや札幌グランドホテルとの連携においても本ルートのもつ「食」のポテンシャルが高く評価されていると認識しており、企業との連携を視野に入れた活動を行っていききたいと考えている。	

ルート名称:東オホーツクシーニックバイウェイルート	報告者:網走開発建設部	報告年月:2013/3/31
---------------------------	-------------	----------------

平成23年度活動報告への助言	平成24年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的かつ発展的な推進を図るため、多様なツール、手法を駆使した情報発信やPR活動等を戦略的に行い、ブランドの形成、地域への浸透、海外を含めた他地域との交流促進に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。	東オホーツクシーニックバイウェイに関する支援活動として、昨年度より継続して実施した女満別空港やオホーツク紋別空港でのルート紹介パネル展に加え、当部の農業部門と連携して地域イベント開催時に合わせてパネル展を開催し、旅客やイベント参加者等に対してルート活動の紹介を行ったほか、春期から夏期にかけて行われる清掃活動や年間を通じて開催される各種地域イベント等へも積極的に参加することで、ルート団体との連携を深めることが出来た。 次年度以降についても、上記の事項について継続して取り組むとともに、オホーツク総合振興局や市町村役場等とも連携してルートをバックアップ出来る環境作りに努めたい。	